

都道府県 A 県
区域 全域

3. 施設・居住系サービス（中重度用）需要の見通し

(3) 施設・居住系サービス（主に中重度用）需要の見通し

参考ケース：現行なみのニーズを全て満たしたケース（最大推計）

○ 需要の仮定

	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
合計							
計							
要支援1							
要支援2							
要介護1							
要介護2							
要介護3							
要介護4							
要介護5							
単独世帯							
計							
要支援1	0.6%						
要支援2	4.2%						
要介護1	18.3%	18.3%					
要介護2	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%
要介護3	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%
要介護4	53.3%	59.2%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%
要介護5	54.9%	60.9%	66.8%	66.8%	66.8%	66.8%	66.8%
夫婦のみ世帯							
計							
要支援1	0.6%						
要支援2	4.2%						
要介護1	18.3%	18.3%					
要介護2	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%
要介護3	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%
要介護4	53.3%	59.2%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%
要介護5	54.9%	60.9%	66.8%	66.8%	66.8%	66.8%	66.8%
その他世帯							
計							
要支援1	0.6%						
要支援2	4.2%						
要介護1	18.3%	18.3%					
要介護2	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%	26.9%
要介護3	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%
要介護4	53.3%	59.2%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%
要介護5	54.9%	60.9%	66.8%	66.8%	66.8%	66.8%	66.8%

要介護（支援）認定者数に対する施設・居住系サービス（主に中重度用）が必要と考えられる割合（仮定値）を入力して、需要量を推計するシートです。

○ 需要の見通し

	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
合計							
計	51	56	66	75	82	88	97
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	2	0	0	0	0	0	0
要介護1	5	5	0	0	0	0	0
要介護2	8	9	10	12	13	14	15
要介護3	10	11	13	15	16	17	19
要介護4	12	15	20	23	25	27	30
要介護5	13	17	22	25	28	30	33
単独世帯							
計	9	11	13	15	16	18	19
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	0	0	0	0	0
要介護2	1	2	2	2	3	3	3
要介護3	2	2	3	3	3	3	4
要介護4	2	3	4	4	5	5	6
要介護5	2	3	4	5	6	6	7
夫婦のみ世帯							
計	14	16	18	21	22	23	24
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	2	0	0	0	0	0
要介護2	2	3	3	3	4	4	4
要介護3	3	3	4	4	4	5	5
要介護4	3	4	5	6	7	7	7
要介護5	4	4	6	7	7	8	8
その他世帯							
計	28	30	34	40	44	47	54
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	2	0	0	0	0	0
要介護2	4	4	5	6	7	7	8
要介護3	5	6	7	8	9	9	10
要介護4	7	8	10	12	13	14	17
要介護5	8	9	12	14	15	16	19

(注) 概ね現行の需要の程度が継続するケース（療養病床の見直しに係る需要の増加等も織り込む）。

都道府県 A 県
区域 全域

4. 高齢者の見守り及び住まいの在り方

○ 見守りを要する世帯の見通し

ケース I : 地域ケアが相当程度進んだケースで計算

※高齢者の 5% が特定高齢者と仮定

■ケース I (地域ケアが相当程度進むケースにおける)見守りが必要な世帯数を推計するシートです。
■単独世帯及び夫婦のみ世帯を対象に、虚弱・要介護(支援)認定者のいる世帯数から、ケース I の施設・居住系サービス(主に中重度用) 需要の見通しを控除して計算しています(自動計算)。詳しくは、注を参照してください。
■虚弱を計算するための特定高齢者の割合の入力値(初期値は5%)を確認して、必要があれば修正してください。

	虚弱・要介護(支援)等認定世帯数							施設・居住系サービス(中重度用) 需要の見通し							見守りが必要な世帯数						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
合計	158	182	214	233	243	251	254	23	28	30	31	31	31	31	134	154	184	202	211	220	223
計	57	64	72	75	73	71	69	0	0	0	0	0	0	0	57	64	72	75	73	71	69
(単独+ 夫婦のみ)	18	21	25	27	29	30	30	0	0	0	0	0	0	0	18	21	25	27	29	30	30
要支援 1	22	30	36	40	43	45	46	1	0	0	0	0	0	0	21	30	36	40	43	45	46
要支援 2	14	14	16	18	20	21	21	3	4	4	0	0	0	0	10	11	16	18	20	21	21
要介護 1	14	16	19	21	23	24	25	4	4	0	0	0	0	0	10	11	19	21	23	24	25
要介護 2	11	13	16	18	19	20	22	5	4	3	3	2	2	2	7	9	13	15	17	18	19
要介護 3	10	12	14	16	18	19	20	5	8	13	14	14	14	14	5	3	1	2	4	5	6
要介護 4	11	13	15	18	19	20	22	6	9	14	15	15	15	15	5	3	2	3	4	5	7
要介護 5	11	13	15	18	19	20	22	5	9	14	15	15	15	15	5	3	2	3	4	5	7
単独世帯	50	60	72	81	89	94	96	9	11	12	13	14	14	14	41	48	60	68	75	80	82
計	10	12	14	16	17	16	16	0	0	0	0	0	0	0	10	12	14	16	17	16	16
虚弱	7	8	10	11	12	13	13	0	0	0	0	0	0	0	7	8	10	11	12	13	13
要支援 1	9	12	15	17	18	19	20	0	0	0	0	0	0	0	8	12	15	17	18	19	20
要支援 2	6	6	7	8	9	9	9	1	1	0	0	0	0	0	5	5	7	8	8	9	9
要介護 1	5	6	8	9	10	10	11	1	2	0	0	0	0	0	4	4	8	9	10	10	11
要介護 2	4	5	6	7	8	9	9	2	2	1	1	1	1	1	3	4	5	6	7	8	8
要介護 3	4	5	6	7	8	8	9	2	3	5	6	6	6	6	2	1	1	1	2	2	3
要介護 4	4	5	6	7	8	8	9	2	3	5	6	6	6	6	2	1	1	1	2	2	3
要介護 5	4	5	6	8	8	9	10	2	4	6	6	7	7	7	2	1	1	1	2	2	3
夫婦のみ世帯	108	122	142	152	154	157	158	14	17	17	18	18	18	17	94	106	124	134	136	140	141
計	47	52	58	59	56	55	53	0	0	0	0	0	0	0	47	52	58	59	56	55	53
虚弱	11	13	15	16	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	11	13	15	16	17	17	17
要支援 1	13	18	21	23	25	26	26	1	0	0	0	0	0	0	13	18	21	23	25	26	26
要支援 2	9	8	10	11	11	12	12	2	2	0	0	0	0	0	7	7	10	11	11	12	12
要介護 1	9	9	11	13	13	14	15	2	3	0	0	0	0	0	6	7	11	13	13	14	15
要介護 2	7	8	9	11	11	12	12	3	2	2	2	1	1	1	4	5	8	9	10	11	11
要介護 3	6	7	8	9	10	11	11	3	5	8	8	8	8	8	3	2	1	1	2	3	3
要介護 4	6	7	8	9	10	11	11	3	5	8	8	8	8	8	3	2	1	1	2	3	3
要介護 5	6	7	9	10	11	11	12	4	5	8	9	9	8	8	3	2	1	2	2	3	4
その他世帯																					
計																					
虚弱																					
要支援 1	17	18	20	23	25	27	28	0	0	0	0	0	0	0	16	18	20	23	25	27	28
要支援 2	23	29	34	39	43	46	50	1	0	0	0	0	0	0	22	29	34	39	43	46	50
要介護 1	15	14	16	18	20	21	23	3	2	0	0	0	0	0	12	11	16	18	20	21	23
要介護 2	16	17	20	23	25	27	30	4	4	0	0	0	0	0	12	12	20	23	25	27	30
要介護 3	14	14	17	19	21	23	26	5	4	3	3	2	2	3	8	10	13	16	19	21	23
要介護 4	13	14	16	18	20	22	25	7	7	6	8	8	8	8	6	7	8	10	12	14	18
要介護 5	14	15	18	20	23	25	28	8	8	9	9	9	9	9	6	7	9	11	14	16	20

↑「見守り」を要する者の推計においては、「その他世帯」は計算に含めないが、一応計算をしておく。

- (注1) 地域における高齢者の見守りや住まいの在り方を検討するため、その基礎として、何らかの形で「見守り」が必要な世帯の数を推計する。
- (注2) 虚弱(特定高齢者)及び要介護(支援)認定者をのうち、施設・居住系サービス(中重度用)を利用している者、その他世帯(単独世帯でも夫婦のみ世帯でもない世帯)に属している者、以外の者を「見守り」が必要な世帯と仮定している。
- (注3) 例えば夫婦のみ世帯において夫婦ともに要介護(支援)認定を受けているケースもあると考えられるが、データの制約等を考えて、ここでは、虚弱・要介護(支援)認定者は、各世帯にひとりのみ生じるものと仮定している。(その意味では大きめ(安全サイド)の推計。)
- (注4) 例えば高齢夫婦とその親というように、その他世帯の中にも、夫婦のみ世帯と同等の配慮を要する世帯があると考えられるが、データの制約等を考えて、ここではその他世帯では家庭内において、一定の見守り機能が確保されているものと仮定している。(その意味では小さめの推計。)

4. 高齢者の見守り及び住まいの在り方

○ 見守りを要する世帯の見通し

ケースⅡ：地域ケアがある程度進んだケース

※高齢者の 5% が特定高齢者と仮定

■ケースⅡ（地域ケアが相当程度進むケースにおける）見守りが必要な世帯数を推計するシートです。
■単独世帯及び夫婦のみ世帯を対象に、虚弱・要介護（支援）認定者のいる世帯数から、ケースⅡの施設・居住系サービス（主に中重度用）需要の見通しを控除して計算しています（自動計算）。詳しくは、注を参照してください。
■虚弱を計算するための特定高齢者の割合の入力値（初期値は5%）を確認して、必要があれば修正してください。

	虚弱・要介護（支援）等認定世帯数							施設・居住系サービス（中重度用）需要の見通し							見守りが必要な世帯数						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
合計	158	182	214	233	243	251	254	23	28	30	33	34	35	37	134	154	184	201	209	216	218
（単独＋ 夫婦のみ）	57	64	72	75	73	71	69	0	0	0	0	0	0	0	57	64	72	75	73	71	69
要支援1	18	21	25	27	29	30	30	0	0	0	0	0	0	0	18	21	25	27	29	30	30
要支援2	22	30	36	40	43	45	46	1	0	0	0	0	0	0	21	30	36	40	43	45	46
要介護1	14	14	16	18	20	21	21	3	3	0	0	0	0	0	12	11	16	18	20	21	21
要介護2	14	16	19	21	23	24	25	4	4	0	0	0	0	0	10	11	19	21	23	24	25
要介護3	11	13	16	18	19	20	22	5	4	3	3	3	3	3	7	9	13	15	16	17	18
要介護4	10	12	14	16	18	19	20	5	8	13	14	15	15	16	5	3	1	2	3	3	4
要介護5	11	13	15	18	19	20	22	6	9	14	15	16	17	17	5	3	2	2	3	4	4
単独世帯	50	60	72	81	89	94	96	9	11	12	14	15	15	16	41	48	60	67	74	78	80
虚弱	10	12	14	16	17	16	16	0	0	0	0	0	0	0	10	12	14	16	17	16	16
要支援1	7	8	10	11	12	13	13	0	0	0	0	0	0	0	7	8	10	11	12	13	13
要支援2	9	12	15	17	18	19	20	0	0	0	0	0	0	0	8	12	15	17	18	19	20
要介護1	6	6	7	8	8	9	9	1	1	0	0	0	0	0	5	5	7	8	8	9	9
要介護2	5	6	8	9	10	10	11	1	2	0	0	0	0	0	4	4	8	9	10	10	11
要介護3	4	5	6	7	8	9	9	2	2	1	1	1	1	1	3	4	5	6	7	7	8
要介護4	4	5	6	7	8	8	9	2	3	5	6	6	7	7	2	1	1	1	1	1	2
要介護5	4	5	6	8	8	9	10	2	4	6	7	7	7	8	2	1	1	1	1	2	2
夫婦のみ世帯	108	122	142	152	154	157	158	14	17	17	19	19	20	20	94	106	124	133	135	138	138
虚弱	47	52	58	59	56	55	53	0	0	0	0	0	0	0	47	52	58	59	56	55	53
要支援1	11	13	15	16	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	11	13	15	16	17	17	17
要支援2	13	18	21	23	25	26	26	1	0	0	0	0	0	0	13	18	21	23	25	26	26
要介護1	9	8	10	11	11	12	12	2	2	0	0	0	0	0	7	7	10	11	11	12	12
要介護2	9	9	11	13	13	14	15	2	3	0	0	0	0	0	6	7	11	13	13	14	15
要介護3	7	8	9	11	11	12	12	3	2	2	2	2	2	2	4	5	8	9	9	10	10
要介護4	6	7	8	9	10	11	11	3	5	8	8	9	9	9	3	2	1	1	2	2	2
要介護5	6	7	9	10	11	11	12	4	5	8	9	9	9	10	3	2	1	1	2	2	2
その他世帯																					
計																					
虚弱								0	0	0	0	0	0	0	16	18	20	23	25	27	28
要支援1	17	18	20	23	25	27	28	1	0	0	0	0	0	0	22	29	34	39	43	46	50
要支援2	23	29	34	39	43	46	50	2	2	0	0	0	0	0	12	11	16	18	20	21	23
要介護1	15	14	16	18	20	21	23	3	4	0	0	0	0	0	12	12	20	23	25	27	30
要介護2	16	17	20	23	25	27	30	4	4	0	0	0	0	0	8	10	13	16	18	20	22
要介護3	14	14	17	19	21	23	26	5	4	3	3	3	3	4	6	7	8	10	11	13	15
要介護4	13	14	16	18	20	22	25	7	7	3	3	9	9	10	6	7	8	10	11	13	15
要介護5	14	15	18	20	23	25	28	8	8	9	10	10	10	11	6	7	9	11	12	14	17

↑「見守り」を要する者の推計においては、「その他世帯」は計算に含めないが、一応計算をしておく。

(注1) 地域における高齢者の見守りや住まいの在り方を検討するため、その基礎として、何らかの形で「見守り」が必要な世帯数を推計する。
(注2) 虚弱（特定高齢者）及び要介護（支援）認定者をのうち、施設・居住系サービス（中重度用）を利用している者、その他世帯（単独世帯でも夫婦のみ世帯でもない世帯）に属している者、以外の者を「見守り」が必要な世帯と仮定している。
(注3) 例えば夫婦のみ世帯において夫婦ともに要介護（支援）認定を受けているケースもあると考えられるが、データの制約等を考えて、ここでは、虚弱・要介護（支援）認定者は、各世帯にひとりのみ生じるものと仮定している。（その意味では大きめ（安全サイド）の推計。）
(注4) 例えば高齢夫婦とその親というように、その他世帯の中にも、夫婦のみ世帯と同等の配慮を要する世帯があると考えられるが、データの制約等を考えて、ここではその他世帯では家庭内において、一定の見守り機能が確保されているものと仮定している。（その意味では小さめの推計。）

4. 高齢者の見守り及び住まいの在り方

○ 見守りを要する世帯の見通し

ケースⅢ：中重度化へのシフトが進んだケース
(中重度者の地域ケアはあまり進まないケース)
※高齢者の 5% が特定高齢者と仮定

■ケースⅢ(地域ケアが相当程度進むケースにおける)見守りが必要な世帯数を推計するシートです。
■単独世帯及び夫婦のみ世帯を対象に、虚弱・要介護(支援)認定者のいる世帯数から、ケースⅢの施設・居住系サービス(主に中重度用)需要の見通しを控除して計算しています(自動計算)。詳しくは、注を参照してください。
■虚弱を計算するための特定高齢者の割合の入力値(初期値は5%)を確認して、必要があれば修正してください。

	虚弱・要介護(支援)等認定世帯数							施設・居住系サービス(中重度用)需要の見通し							見守りが必要な世帯数						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
合計	158	182	214	233	243	251	254	23	28	30	34	37	39	42	134	154	184	199	206	212	213
(単独+ 夫婦のみ)	57	64	72	75	73	71	69	0	0	0	0	0	0	0	57	64	72	75	73	71	69
要支援1	18	21	25	27	29	30	30	0	0	0	0	0	0	0	18	21	25	27	29	30	30
要支援2	22	30	36	40	43	45	46	1	0	0	0	0	0	0	21	30	36	40	43	45	46
要介護1	14	14	16	18	20	21	21	3	3	0	0	0	0	0	12	11	16	18	20	21	21
要介護2	14	16	19	21	23	24	25	4	4	0	0	0	0	0	10	11	19	21	23	24	25
要介護3	11	13	16	18	19	20	22	5	4	3	4	4	4	4	7	9	13	14	15	16	17
要介護4	10	12	14	16	18	19	20	5	8	13	15	16	17	18	5	3	1	2	2	2	2
要介護5	11	13	15	18	19	20	22	6	9	14	16	17	18	20	5	3	2	2	2	2	2
単独世帯	50	60	72	81	89	94	96	9	11	12	14	16	17	19	41	48	60	67	73	76	78
虚弱	10	12	14	16	17	16	16	0	0	0	0	0	0	0	10	12	14	16	17	16	16
要支援1	7	8	10	11	12	13	13	0	0	0	0	0	0	0	7	8	10	11	12	13	13
要支援2	9	12	15	17	18	19	20	0	0	0	0	0	0	0	8	12	15	17	18	19	20
要介護1	6	6	7	8	8	9	9	1	1	0	0	0	0	0	5	5	7	8	8	9	9
要介護2	5	6	8	9	10	10	11	1	2	0	0	0	0	0	4	4	8	9	10	10	11
要介護3	4	5	6	7	8	9	9	2	2	1	1	2	2	2	3	4	5	6	6	7	7
要介護4	4	5	6	7	8	8	9	2	3	5	6	7	7	8	2	1	1	1	1	1	1
要介護5	4	5	6	8	8	9	10	2	4	6	7	8	8	9	2	1	1	1	1	1	1
夫婦のみ世帯	108	122	142	152	154	157	158	14	17	17	20	21	22	23	94	106	124	132	133	135	135
虚弱	47	52	58	59	56	55	53	0	0	0	0	0	0	0	47	52	58	59	56	55	53
要支援1	11	13	15	16	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	11	13	15	16	17	17	17
要支援2	13	18	21	23	25	26	26	1	0	0	0	0	0	0	13	18	21	23	25	26	26
要介護1	9	8	10	11	11	12	12	2	2	0	0	0	0	0	7	7	10	11	11	12	12
要介護2	9	9	11	13	13	14	15	2	3	0	0	0	0	0	6	7	11	13	13	14	15
要介護3	7	8	9	11	11	12	12	3	2	2	2	2	2	2	4	5	8	8	9	9	10
要介護4	6	7	8	9	10	11	11	3	5	8	9	9	9	10	3	2	1	1	1	1	1
要介護5	6	7	9	10	11	11	12	4	5	8	9	10	10	11	3	2	1	1	1	1	1
その他世帯																					
計																					
虚弱								0	0	0	0	0	0	0	16	18	20	23	25	27	28
要支援1	17	18	20	23	25	27	28	0	0	0	0	0	0	0	22	29	34	39	43	46	50
要支援2	23	29	34	39	43	46	50	1	0	0	0	0	0	0	12	11	16	18	20	21	23
要介護1	15	14	16	18	20	21	23	3	2	0	0	0	0	0	12	12	20	23	25	27	30
要介護2	16	17	20	23	25	27	30	4	4	0	0	0	0	0	8	10	13	15	17	18	21
要介護3	14	14	17	19	21	23	26	5	4	3	4	4	5	5	6	7	8	9	10	11	13
要介護4	13	14	16	18	20	22	25	7	7	8	9	10	11	13	6	7	8	9	10	11	13
要介護5	14	15	18	20	23	25	28	8	8	9	10	11	12	14	6	7	9	10	11	12	14

↑「見守り」を要する者の推計においては、「その他世帯」は計算に含めないが、一応計算しておく。

- (注1) 地域における高齢者の見守りや住まいの在り方を検討するため、その基礎として、何らかの形で「見守り」が必要な世帯の数を推計する。
- (注2) 虚弱(特定高齢者)及び要介護(支援)認定者をのうち、施設・居住系サービス(中重度者用)を利用している者、その他世帯(単独世帯でも夫婦のみ世帯でもない世帯)に属している者、以外の者を「見守り」が必要な世帯と仮定している。
- (注3) 例えば夫婦のみ世帯において夫婦ともに要介護(支援)認定を受けているケースもあると考えられるが、データの制約等を考えて、ここでは、虚弱・要介護(支援)認定者は、各世帯にひとりのみ生じるものと仮定している。(その意味では大きめ(安全サイド)の推計。)
- (注4) 例えば高齢夫婦とその親というように、その他世帯の中にも、夫婦のみ世帯と同等の配慮を要する世帯があると考えられるが、データの制約等を考えて、ここではその他世帯では家庭内において、一定の見守り機能が確保されているものと仮定している。(その意味では小さめの推計。)

都道府県 A 県
 区域 全域

4. 高齢者の見守り及び住まいの在り方

○ 見守りを要する世帯の見通し

参考ケース：現行なみのニーズを全て満たしたケース

※高齢者の 5% が特定高齢者と仮定

■参考ケース(地域ケアが相当程度進むケースにおける)見守りが必要な世帯数を推計するシートです。
 ■単独世帯及び夫婦のみ世帯を対象に、虚弱・要介護(支援)認定者のいる世帯数から、参考ケースの施設・居住系サービス(主に中重度用)需要の見通しを控除して計算しています(自動計算)。詳しくは、注を参照してください。
 ■虚弱を計算するための特定高齢者の割合の入力値(初期値は5%)を確認して、必要があれば修正してください。

	虚弱・要介護(支援)等認定世帯数							施設・居住系サービス(中重度用)需要の見通し							見守りが必要な世帯数						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
合計	158	182	214	233	243	251	254	23	27	31	35	38	40	43	134	155	183	198	205	211	211
(単独+ 夫婦のみ)	57	64	72	75	73	71	69	0	0	0	0	0	0	0	57	64	72	75	73	71	69
要支援1	18	21	25	27	29	30	30	0	0	0	0	0	0	0	18	21	25	27	29	30	30
要支援2	22	30	36	40	43	45	46	1	0	0	0	0	0	0	21	30	36	40	43	45	46
要介護1	14	14	16	18	20	21	21	3	3	3	4	5	6	7	12	11	16	18	20	21	21
要介護2	14	16	19	21	23	24	25	4	4	5	6	6	7	7	10	11	14	16	17	18	19
要介護3	11	13	16	18	19	20	22	5	5	6	7	8	8	9	7	8	9	11	11	12	13
要介護4	10	12	14	16	18	19	20	5	7	9	11	11	12	13	5	5	5	6	6	7	7
要介護5	11	13	15	18	19	20	22	6	8	10	12	13	14	15	5	5	5	6	6	7	7
単独世帯	50	60	72	81	89	94	96	9	11	13	15	16	18	19	41	49	59	67	72	76	77
虚弱	10	12	14	16	17	16	16	0	0	0	0	0	0	0	10	12	14	16	17	16	16
要支援1	7	8	10	11	12	13	13	0	0	0	0	0	0	0	7	8	10	11	12	13	13
要支援2	9	12	15	17	18	19	20	0	0	0	0	0	0	0	8	12	15	17	18	19	20
要介護1	6	6	7	8	8	9	9	1	1	1	1	1	1	1	5	5	7	8	8	9	9
要介護2	5	6	8	9	10	10	11	1	2	2	2	3	3	3	4	4	6	6	7	8	8
要介護3	4	5	6	7	8	9	9	2	2	3	3	3	3	4	3	3	4	4	5	5	6
要介護4	4	5	6	7	8	8	9	2	3	4	4	5	5	6	2	2	2	2	3	3	3
要介護5	4	5	6	8	8	9	10	2	3	4	5	6	6	7	2	2	2	2	3	3	3
夫婦のみ世帯	108	122	142	152	154	157	158	14	16	18	21	22	23	24	94	107	124	132	132	135	134
虚弱	47	52	58	59	56	55	53	0	0	0	0	0	0	0	47	52	58	59	56	55	53
要支援1	11	13	15	16	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	11	13	15	16	17	17	17
要支援2	13	18	21	23	25	26	26	1	0	0	0	0	0	0	13	18	21	23	25	26	26
要介護1	9	8	10	11	11	12	12	2	2	2	2	2	2	2	7	7	10	11	11	12	12
要介護2	9	9	11	13	13	14	15	2	3	3	3	4	4	4	6	7	8	9	10	10	11
要介護3	7	8	9	11	11	12	12	3	3	4	4	4	5	5	4	5	6	6	7	7	7
要介護4	6	7	8	9	10	11	11	3	4	5	6	7	7	7	3	3	3	3	3	4	4
要介護5	6	7	9	10	11	11	12	4	4	6	7	7	8	8	3	3	3	3	4	4	4
その他世帯																					
虚弱								0	0	0	0	0	0	0	16	18	20	23	25	27	28
要支援1	17	18	20	23	25	27	28	0	0	0	0	0	0	0	22	29	34	39	43	46	50
要支援2	23	29	34	39	43	46	50	1	0	0	0	0	0	0	12	11	16	18	20	21	23
要介護1	15	14	16	18	20	21	23	3	4	5	6	7	7	8	12	12	14	16	18	20	22
要介護2	16	17	20	23	25	27	30	4	4	5	6	7	7	8	8	9	10	12	13	14	15
要介護3	14	14	17	19	21	23	26	5	6	7	8	9	9	10	6	6	6	6	7	8	9
要介護4	13	14	16	18	20	22	25	7	8	10	12	13	14	17	6	6	6	6	7	8	9
要介護5	14	15	18	20	23	25	28	8	9	12	14	15	16	19	6	6	6	7	8	8	9

↑「見守り」を要する者の推計においては、「その他世帯」は計算に含めないが、一応計算をしておく。

- (注1) 地域における高齢者の見守りや住まいの在り方を検討するため、その基礎として、何らかの形で「見守り」が必要な世帯の数を推計する。
- (注2) 虚弱(特定高齢者)及び要介護(支援)認定者をのうち、施設・居住系サービス(中重度者用)を利用している者、その他世帯(単独世帯でも夫婦のみ世帯でもない世帯)に属している者、以外の者を「見守り」が必要な世帯と仮定している。
- (注3) 例えば夫婦のみ世帯において夫婦ともに要介護(支援)認定を受けているケースもあると考えられるが、データの制約等を考えて、ここでは、虚弱・要介護(支援)認定者は、各世帯にひとりのみ生じるものと仮定している。(その意味では大きめ(安全サイド)の推計。)
- (注4) 例えば高齢夫婦とその親というように、その他世帯の中にも、夫婦のみ世帯と同等の配慮を要する世帯があると考えられるが、データの制約等を考えて、ここではその他世帯では家庭内において、一定の見守り機能が確保されているものと仮定している。(その意味では小さめの推計。)

5. 「在宅医療」の在り方

ケースⅠ：地域ケアが相当程度進んだケースで計算

■介護保険や医療保険のうち「在宅医療」の利用者数を推計します。
 ■(1)のシートと並行して作成する短期ワークシートから発生率を入力してください。
 ■(2)のシートには医療保険の、医科・在宅医療の人口に対する発生件数を入力します。初期値は全国計の数値が入力されていますが、独自データがあれば更新してください。

(1) 介護保険の居宅サービスの中の在宅医療的なもの

発生率(要介護(支援)認定者数に対する利用者の割合)	利用者数の見直し(千人)														
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	
訪問看護 計								11	12	16	18	20	21	22	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	5	7	8	9	10	11	11	11
要介護1	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	6	5	8	9	9	10	11	11
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問リハ 計								1	2	2	2	3	3	3	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護1	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
通所リハ 計								36	45	56	63	68	73	77	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	24	33	40	45	49	52	55	55
要介護1	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	12	11	16	18	20	21	22	22
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所療養介護 計								3	4	5	5	6	6	6	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	1	2	2	2	3	3	3	3
要介護1	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	2	2	2	3	3	3	3	3
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅療養管理指導 計								2	2	3	3	4	4	4	4
要支援1~2								0	1	1	1	1	1	1	1
要支援1~5								2	2	2	3	3	3	3	3

(2) 医療保険の在宅医療的なもの・・・ここでは医科・在宅医療を推計

発生率(要介護(支援)認定者数に対する利用者の割合)	利用者数の見直し(千人)													
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
総数								52	56	63	66	70	71	73
(65~再掲)								35	41	48	53	56	58	60
0~4	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
5~9	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
10~14	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	1	1	1	1	1	1	1
15~19	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
20~24	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
25~29	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
30~34	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	1	1	1	1	1	1	1
35~39	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1	1	1	1	1	1	1
40~44	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1	1	1	1	1	1	1
45~49	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2	2	2	2	2	2	2
50~54	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	3	2	2	2	2	2	2
55~59	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	4	4	3	3	3	3	3
60~64	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	4	5	4	3	3	3	4
65~69	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	6	6	7	7	5	5	5
70~74	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	7	7	7	9	8	7	7
75~79	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	7	8	8	9	11	10	8
80~84	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	6	8	9	9	10	12	11
85~	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	9	12	16	19	22	24	29

(3) まとめ

	「在宅医療」利用者数の見直し(千人)						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
■基べ人数(①+②)	89	106	130	145	156	164	173
■介護保険のうち在宅医療的なもの(①)	54	64	82	92	100	107	112
訪問看護	11	12	16	18	20	21	22
訪問リハビリテーション	1	2	2	2	3	3	3
通所リハビリテーション	36	45	56	63	68	73	77
短期入所療養介護	3	4	5	5	6	6	6
居宅療養管理指導	2	2	3	3	4	4	4
■医療保険のうち在宅医療的なもの(②)	35	41	48	53	56	58	60
在宅医療(医科)	35	41	48	53	56	58	60

(注1) ①に入力する短期ワークシートの発生率は居宅サービス利用者数に対する率であるが、ここでは、要介護(支援)認定者数から施設・居住系サービス利用者数を控除した、居宅サービス利用対象者数に乗じているので、大きめの数値となっている可能性がある。(安全サイド)

居宅サービス利用者数と居宅サービス利用対象者数が大きく乖離している場合には、発生率を少し小さめに修正する等の検討が必要となる。

(注2) 医療保険については、医科の在宅医療の発生率を初期値として入力している。基礎データは、平成17年の社会医療診療行為別調査(厚生労働省)の特別集計及び同年の国勢調査から作成したものの。

これ以外に、訪問看護のうち前月以前の指示に基づき行われるもの等があり得る。地域の実情に応じて基礎数値を置き換えたり、修正することも考えられる。

(注3) まとめにおける、①+②、①の合計欄は、各サービス利用者数を単純に合計したものの。実際には、各サービス利用者は相当程度重複していると考えられるので、かなり大きめの数値となっていることに留意が必要。

5. 「在宅医療」の在り方

ケースⅡ：地域ケアがある程度進んだケース

(1) 介護保険の居宅サービスの中の在宅医療的なもの

発生率（要介護（支援）認定者数に対する利用者の割合）	利用者数の見直し（千人）														
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	
訪問看護 計								11	12	16	18	20	21	22	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	5	7	8	9	10	11	11	
要介護1	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	6	5	8	9	9	10	11	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
訪問リハ 計								1	2	2	2	3	3	3	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1	1	1	1	1	1	1	
要介護1	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	1	1	1	1	1	1	1	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
通所リハ 計								36	45	56	63	68	73	77	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	24	33	40	45	49	52	55	
要介護1	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	12	11	16	18	20	21	22	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
短期入所療養介護 計								3	4	5	5	6	6	6	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	1	2	2	2	3	3	3	
要介護1	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	2	2	2	3	3	3	3	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	
居宅療養管理指導 計								2	2	3	3	4	4	4	
要支援1~2								0	1	1	1	1	1	1	
要介護1~5								2	2	2	3	3	3	3	

(2) 医療保険の在宅医療的なもの・・・ここでは医科・在宅医療を推計

発生率（要介護（支援）認定者数に対する利用者の割合）	利用者数の見直し（千人）													
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
総数								82	88	93	98	103	108	113
(65~再掲)								35	41	48	53	56	58	60
0~4	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
5~9	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
10~14	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	1	1	1	1	1	1	1
15~19	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
20~24	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
25~29	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0
30~34	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	1	1	1	1	1	1	1
35~39	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1	1	1	1	1	1	1
40~44	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1	1	1	1	1	1	1
45~49	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2	2	2	2	2	2	2
50~54	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	3	3	3	3	3	3	3
55~59	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	4	4	4	4	4	4	4
60~64	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	4	5	4	3	3	3	4
65~69	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	6	6	7	7	5	5	5
70~74	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	7	7	7	9	8	7	7
75~79	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	7	8	8	8	11	10	8
80~84	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	6	8	9	9	10	12	11
85~	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	9	12	16	19	22	24	29

■介護保険や医療保険のうち「在宅医療」の利用者数を推計します。
 ■(1)のシートに並行して作成する短期ワークシートから発生率を入力してください。
 ■(2)のシートには医療保険の、医科・在宅医療の人口に対する発生率を入力します。初期値は全国計の数値が入力されていますが、独自データがあれば更新してください。

(3) まとめ

	「在宅医療」利用者数の見直し（千人）						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
■延べ人数(①+②)	89	106	130	145	156	164	173
■介護保険のうち在宅医療的なもの(①)	54	64	82	92	100	107	112
訪問看護	11	12	16	18	20	21	22
訪問リハビリテーション	1	2	2	2	3	3	3
通所リハビリテーション	36	45	56	63	68	73	77
短期入所療養介護	3	4	5	5	6	6	6
居宅療養管理指導	2	2	3	3	4	4	4
■医療保険のうち在宅医療的なもの(②)	35	41	48	53	56	58	60
在宅医療(医科)	35	41	48	53	56	58	60

(注1) (1)に入力する短期ワークシートの発生率は居宅サービス利用者数に対する率であるが、ここでは、要介護(支援)認定者数から施設・居住系サービス利用者数を控除した、居宅サービス利用対象者数に乗じているので、大きめの数値となっている可能性がある。(安全サイド)

居宅サービス利用者数と居宅サービス利用対象者数が大きく乖離している場合には、発生率を少し小さめに修正する等の検討が必要となる。

(注2) 医療保険については、医科の在宅医療の発生率を初期値として入力している。基礎データは、平成17年の社会医療診療行為別調査(厚生労働省)の特別集計及び同年の国勢調査から作成したもの。

これ以外に、訪問看護のうち前月以前の指示に基づき行われるもの等があり得る。地域の実情に応じて基礎数値を置き換えたり、修正することも考えられる。

(注3) まとめにおける、①+②、①の合計欄は、各サービス利用者数を単純に合計したものの、実際には、各サービス利用者は相当程度重複していると考えられるので、かなり大きめの数値となっていることに留意が必要。

5. 「在宅医療」の在り方

ケースⅢ：中重度化へのシフトが進んだケース
(中重度者の地域ケアはあまり進まないケース)

(1) 介護保険の在宅サービスの中の在宅医療的なもの

発生率(要介護(支援)認定者数に対する利用者の割合)	利用者数の見直し(千人)						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
訪問看護 計	11	12	16	18	20	21	22
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要支援2	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%
要介護1	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
訪問リハ 計	1	2	2	2	3	3	3
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要支援2	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%
要介護1	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
通所リハ 計	36	45	56	63	68	73	77
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要支援2	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%
要介護1	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
短期入所療養介護 計	3	4	5	5	6	6	6
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要支援2	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%
要介護1	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居宅療養管理指導 計	2	2	3	3	4	4	4
要支援1~2	0	1	1	1	1	1	1
要介護1~5	2	2	2	2	3	3	3

(2) 医療保険の在宅医療的なもの・・・ここでは医師・在宅医療を推計

発生率(要介護(支援)認定者数に対する利用者の割合)	利用者数の見直し(千人)						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
総数	52	58	63	68	70	71	73
(65-再掲)	35	41	48	53	56	58	60
0~4	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
5~9	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
10~14	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
15~19	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
20~24	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
25~29	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
30~34	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
35~39	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
40~44	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
45~49	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
50~54	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
55~59	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
60~64	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
65~69	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
70~74	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%
75~79	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
80~84	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%
85~	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%

■介護保険や医療保険のうち「在宅医療」の利用者数を推計します。

■(1)のシートに並行して作成する短期ワークシートから発生率を入力してください。

■(2)のシートには医療保険の、医師・在宅医療の人口に対する発生率を入力します。初期値は全国計の数値が入力されていますが、独自データがあれば更新してください。

(3) まとめ

	「在宅医療」利用者数の見直し(千人)						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
■延べ人数(①+②)	89	106	130	145	156	164	173
■介護保険のうち在宅医療的なもの(①)	54	64	82	92	100	107	112
訪問看護	11	12	16	18	20	21	22
訪問リハビリテーション	1	2	2	2	3	3	3
通所リハビリテーション	36	45	56	63	68	73	77
短期入所療養介護	3	4	5	5	6	6	6
居宅療養管理指導	2	2	3	3	4	4	4
■医療保険のうち在宅医療的なもの(②)	35	41	48	53	56	58	60
在宅医療(医師)	35	41	48	53	56	58	60

(注1) (1)に入力する短期ワークシートの発生率は居宅サービス利用者数に対する率であるが、ここでは、要介護(支援)認定者数から施設・居住系サービス利用者数を控除した、居宅サービス利用対象者数に乗じているので、大きめの数値となっている可能性がある。(安全サイド)

居宅サービス利用者数と居宅サービス利用対象者数が大きく乖離している場合には、発生率を少し小さめに修正する等の検討が必要となる。

(注2) 医療保険については、医師の在宅医療の発生率を初期値として入力している。基礎データは、平成17年の社会医療診療行為別調査(厚生労働省)の特別集計及び同年の国勢調査から作成したものの。

これ以外に、訪問看護のうち前月以前の指示に基づき行われるもの等があり得る。地域の実情に応じて基礎数値を置き換えたり、修正することも考えられる。

(注3) まとめにおける、①+②、①の合計欄は、各サービス利用者数を単純に合計したものの。実際には、各サービス利用者は相当程度重複していると考えられるので、かなり大きめの数値となっていることに留意が必要。

5. 「在宅医療」の在り方

参考ケース：現行なみのニーズを全て満たしたケース

■介護保険や医療保険のうち「在宅医療」の利用者数を推計します。

■①のシートに並行して作成する短期ワークシートから発生率を入力してください。

■②のシートには医療保険の、医科・在宅医療の人口に対する発生件数を入力します。初期値は全国計の数値が入力されていますが、独自データがあれば更新してください。

(1) 介護保険の居宅サービスの中の在宅医療的なもの

発生率(要介護(支援)認定者数に対する利用者の割合)	利用者数の見直し(千人)													
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
訪問看護 計							11	12	16	18	20	21	22	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	5	7	8	9	10	11	11	
要介護1	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	6	5	8	9	9	10	11	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問リハ 計							1	2	2	2	3	3	3	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1	1	1	1	1	1	1	
要介護1	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	1	1	1	1	1	1	1	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
通所リハ 計							36	45	56	63	68	73	77	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	24	33	40	45	49	52	55	
要介護1	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	50.5%	12	11	16	18	20	21	22	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所療養介護 計							3	4	5	5	6	6	6	
要支援1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	1	2	2	2	3	3	3	
要介護1	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	2	2	2	3	3	3	3	
要介護2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅療養管理指導 計							2	2	3	3	4	4	4	
要支援1・2							0	1	1	1	1	1	1	
要介護1～5							2	2	2	2	3	3	3	

(2) 医療保険の在宅医療的なもの・・・ここでは医科・在宅医療を推計

発生率(要介護(支援)認定者数に対する利用者の割合)	利用者数の見直し(千人)													
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
総数							52	58	63	68	70	71	73	
(65-再掲)							35	41	48	53	56	58	60	
0～4	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	1	1	0	0	0	0	0	0
15～19	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	1	1	0	0	0	0	0	0
35～39	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1	1	1	1	1	1	1	
40～44	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1	1	1	1	1	1	1	
45～49	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2	2	2	2	2	2	2	
50～54	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	3	3	3	3	3	3	3	
55～59	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	4	4	4	4	4	4	4	
60～64	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	4	5	4	3	3	3	4	
65～69	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	6	6	7	7	5	5	5	
70～74	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	7	7	7	7	8	8	7	
75～79	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	7	8	8	9	11	10	8	
80～84	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	6	8	9	9	10	12	11	
85～	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	6.9%	9	12	16	19	22	24	29	

(3) まとめ

	「在宅医療」利用者数の見直し(千人)						
	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
■延べ人数(①+②)	89	106	130	145	156	164	173
■介護保険のうち在宅医療的なもの(①)	54	64	82	92	100	107	112
訪問看護	11	12	16	18	20	21	22
訪問リハビリテーション	1	2	2	2	3	3	3
通所リハビリテーション	36	45	56	63	68	73	77
短期入所療養介護	3	4	5	5	6	6	6
居宅療養管理指導	2	2	3	3	4	4	4
■医療保険のうち在宅医療的なもの(②)	35	41	48	53	56	58	60
在宅医療(医科)	35	41	48	53	56	58	60

(注1) ①に入力する短期ワークシートの発生率は居宅サービス利用者数に対する率であるが、ここでは、要介護(支援)認定者数から施設・居住系サービス利用者数を控除した、居宅サービス利用対象者数に乘じているので、大きめの数値となっている可能性がある。
(安全サイド)

居宅サービス利用者数と居宅サービス利用対象者数が大きく乖離している場合には、発生率を少し小さめに修正する等の検討が必要となる。

(注2) 医療保険については、医科の在宅医療の発生率を初期値として入力している。基礎データは、平成17年の社会医療診療行為別調査(厚生労働省)の特別集計及び同年の国勢調査から作成したもの。

これ以外に、訪問看護のうち前月以前の指示に基づき行われるもの等があり得る。地域の実情に応じて基礎数値を置き換えたり、修正することも考えられる。

(注3) まとめにおける、①+②、①の合計欄は、各サービス利用者数を単純に合計したものの、実際には、各サービス利用者は相当程度重複していると考えられるので、かなり大きめの数値となっていることに留意が必要。

都道府県 A県
 区域 全域

■需要の見通しと比較する参考として供給の見通しについて考えるシートです。
 ■施設・居住系サービスについて第3期の事業計画ベースの整備見込み等を入力すれば、参考推計値が計算されます。

6. 供給の見通し

施設・居住系サービスの供給の見通しについて、例えば、

- ① 仮に、2014年の整備量で固定した場合、
- ② 仮に、2014年の整備率で固定した場合、

などが考えられるが、地域の特性に応じた推計方法で見通しを作成する。

【推計例（単位：千人）】

- ・ 現行の参酌標準による、2014年の施設・居住系サービスの整備量 55,879 人分
- ・ この整備量の、要介護2以上の者に対する割合 42.9%

	平成17 (2005)	平成22 (2010)	平成27 (2015)	平成32 (2020)	平成37 (2025)	平成42 (2030)	平成47 (2035)
仮に、2014年の整備量固定の場合	51	56	56	56	56	56	56
仮に、同、整備率固定の場合	51	56	58	66	72	77	85